

森あやこ

ニュース

Ayako Mori News

発行: 福岡市議会議員 森あやこ

2022
秋冬
号



[p2] 決算報告—もっと市民の暮らしに寄り添った市政に! / [p2-3] ゲノム編集トマトの苗を受け取らないで!



いのちを守り心豊かに育むための

学校給食の無償化を

学校給食は大きな役割があり 重要性が高い!

基準給食回数は年間190回。昨年は187日実施されました。学校給食で栄養を保つ子どもたちもいます。

少子化は止まりません。いじめや自殺の問題もあり、せっかく生まれたいのちが絶えてしまうことのないよう、お腹を満たす、安全なもので、安心して学べる学校環境にすることは重要です。

すべての子どもたちの権利として、教育が無償で受けられることとし、健康と福祉を向上させるために、学校給食の無償化を進めるべきです。

福岡市の教育費は、 他の政令市より0.5%低い!

給食費の保護者負担額は年間48億円(一般会計構成比0.5%)。教育費決算の不用額は57億円余。2021年度一般会計93億円余の黒字。

無償化を国へ要望するとともに、市の給食費予算にこれらの黒字分を充てると実現できると考えます。

食材の安全性をより高めることが必要!

食物アレルギーを有する児童生徒は、約4,000人。重篤な症状、アレルゲンとなる種類も増えています。そのような中、学校給食におけるアレルギー対応は一步一步進められてきましたが、不安を抱える保護者からの相談は絶えません。

子どもたちの健やかな成長のために!

国は有機農業の拡大を掲げています。アレルギーだけの問題ではなく、人の健康といのちを守ることが重要で、国策として第一次産業を守ることが必要です!

国産の有機農作物を給食に利用すれば、作付けしたものがきちんと消費されます。手間隙かけても、喜びと利益が上がる農業にしていく必要があります。農水局と連携を図り、有機栽培を含め、市内産を増やせるよう進めていきます。

地球環境と生き物のいのちは一体!

土を守り、水を守らなければ、環境は汚染され、生態系にも影響します。生き物はいのちをいただき、体を作り、脳を作り、いのちを繋いでいます。

子どもを真ん中に、子どもが未来に夢を描ける社会にするために、給食の無償化と有機食材の活用、食育の更なる推進を、これからも強く求めていきます!

オーガニック給食シンポジウム 開催!

給食から変える 子どもたちのみらい

・日時: 11月27日(日) 13:30~16:00

・場所: 大手門パインビル 2Fホール
(福岡市中央区大手門1-1-12)

・ゲスト: 九州農政局、八尋健次さん(オーガニックパパ)
小崎孝子さん(ふたば幼稚園)ほか



生活って政治! 「住んでるまちを 住み続けられるまちに」市民とともに

「暮らしのための議会」を実現するため、皆様のご意見や思いを聞かせてください。

事務所

☎ 092-662-5077

〒813-0044 福岡市東区千早5-17-18 TKビル2号館1階
FAX.092-662-5097



森あやこ 公式ブログ

<http://ayako966.blog.fc2.com/>

— このニュースは、議員活動の一環として、税金から賄われる「政務活動費」を用い発行しています —